

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公表番号】 特表 2001-505207(P2001-505207A)

【公表日】 平成 13 年 4 月 17 日 (2001.4.17)

【出願番号】 特願 平 10-524012

【国際特許分類第 7 版】

C 07 J 9/00

C 07 J 31/00

C 07 J 41/00

【F I】

C 07 J 9/00

C 07 J 31/00

C 07 J 41/00

【手続補正書】

【提出日】 平成 16 年 12 月 1 日 (2004.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 補正の内容のとおり

【補正方法】 変更

【補正の内容】



手続補正書

平成16年12月1日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第524012号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 ペンシルベニア州 プリマウス ミーティング
キャンパス ドライヴ 5110

名称 ジェネーラ コーポレーション

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話 (大阪) 06-6949-3910



4. 補正対象書類名

明細書

5. 補正対象項目名

明細書

6. 補正の内容

明細書第5頁下から第5行目の後に、以下の段落を挿入します。

「キラルなオキサザボロリジンは、不斉合成において使用されている。Wallbaumら、「キラルなオキサザボロリジンを用いる不斉合成」、Tetrahedron: Asymmetry, 第3巻, 第12号, 1992, 1475-1504頁。ケトンの触媒的エナンチオ選択的還元は、還元剤としてのボラン、およびキラルなオキサザボロリジン触媒を使用して、達成された。Coreyら、「ケトンのエナンチオ選択的な還元のための、安定でありかつ容易に調製される触媒。多工程の合成への応用」、J. Am. Chem. Soc., 第109巻, 第25号, 1987, 7925-7926頁。光学活性な β -アミノアルコキシボラン錯体は、カルボニル化合物の還元剤として使用されている。WO 94/17079。」

